

新宮山彦ぐるーぷ第2399回

持経宿、平治宿の巡回整備と塗料運びなど

◇実施日 11月3日(月) 晴

◇参加者 沖崎吉信、大江加予子・徳子、畑林秀味、梶野照雄、志岐敬、村吉光夫、瀧本昭太郎、由井洋三 9名

28日に塗料やうすめ液を持経宿にデポしてきたので、これらを平治宿に運ぶ予定で持経宿に向かった。当初、参加者は4人だけで、瀧本さんは先日の堆積した沢を掘り進めるので、平治宿には行かない。と言っていたが、新宮の3名と由井さんが加わったので、掘る作業は帰路に全員で行うことになった。



平治宿に向かう



平治宿に到着



塗料を収納

池郷林道の路面状況は先日と同じで、落石も殆どなかった。カルバ

ートパイプの沢で停車して皆さんに状況を確認していただき、1時間ちよつとで持経宿に到着。

梶野、村吉、志岐、瀧本、由井の5名で塗料缶3個とうすめ液1缶などを分担して担ぎ、平治宿に向かった。約1時間で平治宿に着く。塗料などを小屋内に収納、志納金を回収してトイレを点検した。排水路に落ち葉が溜まっていたので、村吉さんが掃除し、水を流して確かめた。



排水路の掃除



本日の参加者



溜まった土砂を掘る

20分弱の滞在で持経宿に引き返した。お昼過ぎに持経宿に到着し昼食を摂る。食後、鈴の音が聞こえたので外に出てみると逆峰の女性登山者が到着した。単独で本宮まで行くそうだ。小屋内で休憩していただき、南下を見送ってから持経宿を離れた。平治宿には行かず持経宿整備に当たった4名は小屋内外の掃除や千年松のお堂整備などを行った。分解した古いストーブと不要になった煙突も片付けられていた。15分程でカルバートパイプの沢に着く。全員で溜

まっただ土砂を運び、深く掘れた溝を埋めていった。50分ほど作業を続けたが、溝の距離が長く目に見えて改善するところまでは進まなかった。道具を片付けて下山。スポーツ公園駐車場で解散した。

(記；梶野)

行動タイム

08:30 スポーツ公園駐車場→09:03 池郷林道ゲート→09:40 持経宿→11:00 平治宿 11:21→12:18 持経宿 13:00→15:23 スポーツ公園駐車場